

メディア表現VI 15.まとめ

目次

TODO:

やってきたこと

3年目の開講で、まだ色々試行錯誤でした。

というより、進歩が早すぎ！

当初情報ツールの中でノーコードツールまでを教えようと思っていましたが、ノーコードすっ飛ばしてAIツールが情報ツールの常識となりつつあります。

テキストエディタ/Markdown記法

- VSCodeが主流なテキストエディタになっている(AI機能以外)
- 検索と置換は有効に利用しよう
- 検索も極めると色々な方法がある(正規表現)
- キーバインドを知ること容易にタイピングが可能
- Emmetと呼ばれるコード補完の方法がHTMLにある
- マークダウンはメモなどにも非常に便利
- Discord/Teams等でもマークダウン使えるね

AIと親和性が非常に高いのでマークダウン覚えておくと本当にいいと思います。

VSCodeのAI派生版がたくさん出てきてます。使いやすいものを一つ作っておくといいですね。

(Antigravity/Cursor etc...)

データベース(DB)

- 情報を蓄える上でデータベースは非常に大事
- 簡単に利用するにはExcel, Google Spreadsheetがある
- 業務などで利用する場合には、専用のデータベースサーバが必要となる
- リレーショナルDBという考え方大事(最近ではNoSQLと呼ばれるものもある)
- DB設計には正規化という作業が必要
- データベースの操作にはSQL文を利用する
- CRUDという概念がある
- ノーコードで利用できるAirTableというツールが出てきている

プログラミングせずに利用できるノーコードツールですが、AirTableにもAIが導入されています。

モダンExcel

- 最近のExcelはどんどん進化している
- Officeにもバージョンがある。サブスクリプションのMicrosoft365は常に新しい。
- ピボットテーブルという集計方法がある
- ただの表ではなく、テーブル機能を使うと、データの追加時に便利
- スピルという機能を使うと、計算式を入力した場所からはみ出した部分にも値を自動入力可能
- PowerQuery/PowerPivotという二つの機能を合わせて**モダンExcel**とされている
- ETL(Extract:抽出, Transform:変換, Load:読込)

Google Spreadsheetも使っていきましょう。

Googleツール

- たくさんのツール群が発表されている
- Chromeブラウザ互換のブラウザはたくさんリリースされている
- ブラウザエンジン/JavaScriptエンジンについては理解しておこう
- Officeの代わりになるGoogle Docsは便利
- Google Drive(クラウドストレージ)も使っていこう
- アドオンで様々な機能を追加することも可能
- ビジネスではWebマーケティングが必須
- YouTubeアナリティクスで分析可能
- OGPはSNSマーケティングの基本
- Google Analyticsでサイトの状況を分析可能

情報管理(Notion)

- Notionがデータの整理に便利
- Notionではデータベースはページの一覧を意味している

就活で使ってくださいね。

バージョン管理

- gitによるバージョン管理はこれから必須
- GitHubで複数人数で共有が可能。IT業界では必須スキル
- 理系でなくてもGitHubを使い始めている

ノーコード開発

bubbleを紹介しようと思いましたが、こちらもAI導入されていて、「ノーコード」自体はAirTableで触れているので、今年からやめました。

AIの現状

- 日々の進化早すぎ！
- [LeaderBoard](#)で性能は確認するようにしよう。。

今週のAI

- GPT Image 1.5 発表
- Gemini 3 Flash 発表
- Opal(Googleが提供する「ノーコードAIミニアプリ開発ツール」)アップデート Gemから呼び出せる
- [Apple SHARP\(2DImage to 3D\)](#)

どんどん新しい技術が出てきています。

- インターネットがない世の中が考えられないのと同じで、AIがない世の中はもう考えられない
- できることは「日々」増えている
- 利用する側のリテラシー(文章力・判断力etc)は必須
- 情報収集を怠らないでほしい

番外：スマホ新法(知っておくべきこと)

- 【12月18日施行】 スマホ新法とは？ Apple・Google規制でアプリ内課金はどう変わるのか

まとめ

情報ツール

情報系のツールは目覚ましい進化を遂げています。

ツールに流されてはいけませんが、便利なものはどんどん利用していきましょう。

Webサービスは、途中でディスコン(discontinue)になることもあり得ます。導入にあたっては、将来性を考えてツールを選択する必要があります。

ツールを使いこなしてこれからの人生に役立ててください。

DX

DX(デジタルトランスフォーメーション)が多くところで叫ばれています。単純に言えば、**デジタル変革**という意味になります。

AI・IoT・ビッグデータなどのデジタル技術を用いて様々なことが変革していくこととなるでしょう。

どこに行くんだろう？

シンギュラリティという言葉があり、技術的特異点を指しますが、AIの能力が人間を超えるタイミングが、提唱者の米国の発明家レイ・カーツワイル博士によると2045年と予想していますが、昨年・今年に起こったAIの進化はこれまでの数十年と比べても飛躍的なものであり、これもっと早まるような気さえしています。

最近では数年後から2045年と幅広い説が提唱されています。

このようなテクノロジーとどう付き合っていけばいいんだろうか？

答えは皆さんに探してほしいと思います。

自分は「インターネット」とは大学時代に触れていましたが、「HP」については大学を卒業してからその技術と触れています。

社会がインターネットの進化と変容していくことを見ていましたし、その業界にもいました。

今後、どんどんAIを中心とした技術が出てくることは間違いないですし、インターネットの時と比較してもAIの進化のスピードは本気でやばいと思っています。

どう付き合うかに答えはありません。が、乗り遅れることがありうると思います。生産性をあげ、より人生が豊かになるように付き合っていきたいと思っています。

前回レポートまとめ

「ChatGPTで簡単に作られたレポートを提出させないためには、どういふことをしたら良いと思いますか？」について、以下の意見がありました。

- 経験をかかせ、オリジナリティで評価
- 絵で書く前の構成を提出させる
- 識別ソフトを使う
- 授業内の資料・内容について作らせる
- 途中経過の提出や口頭での説明
- 授業時間にかかせて、口頭説明
- 手書き
- ペアで考えさせる
- 先生自身が考えた造語を授業内で提示しその造語を必ず使用する決まりを設ける。

Geminiにも答えてもらった

1. 「プロセス」を評価対象に組み込む
 - 手書きの構成案・マインドマップの提出: 執筆前に自分の頭でどう考えたかの「下書き」を写真に撮って提出させます。
 - 参考文献の「現物」を確認: 引用した文献の該当箇所のコピーや、図書館で借りた本の返却期限票などを添付させます。
 - 執筆ログの提出: Googleドキュメントなどの「変更履歴」を確認し、一瞬で大量のテキストが貼り付けられていないかをチェックします。
2. 「具体的・体験的」な内容を必須にする
3. 課題の「出し方」を工夫する

というわけで、

「執筆ログの提出」は意味があるかな、と思いました。

- 大量にコピペがあると、すぐわかる
- 自動保存の度に変更があれば履歴が残るので、これをハックするには「少しずつコピペ」という手もあるけど、その手間考えると、自分で書いた方が良くない？

期末レポートの提出方法

1. GoogleDocsの「ドキュメント」を利用すること
2. 書き始めから利用すること。(変更履歴により執筆状況を後で確認します)
3. 共有で「リンクを知っている全員」「編集者」としてリンクをコピーして、それをmanabaで提出。

注：manabaでURLを提出してから変更も可能ということになります。

期末レポートの内容

本演習では様々な情報ツールがあることを紹介、演習トピックとして実践してきた。今後あなたは

- どのように情報ツールと付き合っていくか
- どのように社会の変容に追いついていくか

について、演習で扱った内容を踏まえ1200字以上であなたの意見をまとめよ。

締め切りは「2026/1/16 23:55」とします。